

### 3 育児と子どもの教育について

問5 子どもが0～2歳のあいだ、どのように育児するのが望ましいと思いますか。  
あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(〇は一つ)

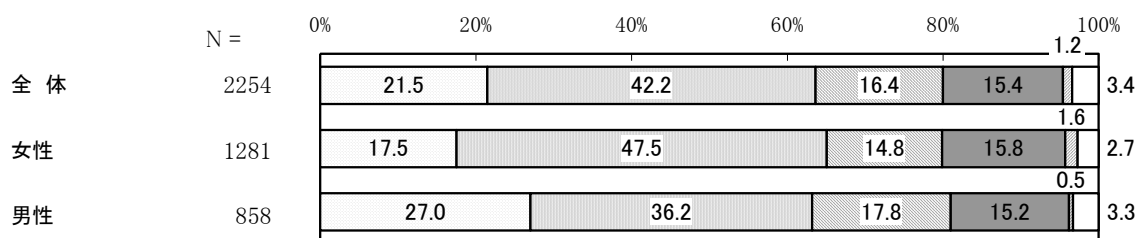
「子育てサークルなどの一時的な育児支援や、子ども会などの地域ネットワークを利用しながら、主に家庭で育児する」の割合が42.2%と最も高く、次いで「育児は、できるだけ家族だけで行う」の割合が21.5%、「保育所等を利用しながら、育児を行う」の割合が16.4%となっています。

性別でみると、女性で「子育てサークルなどの一時的な育児支援や、子ども会などの地域ネットワークを利用しながら、主に家庭で育児する」の割合が高くなっています。

性・年齢別でみると、他に比べ、女性の30歳代で「育児は、できるだけ家族だけで行う」の割合が低くなっています。また、男性の20歳代、30歳代で「子育てサークルなどの一時的な育児支援や、子ども会などの地域ネットワークを利用しながら、主に家庭で育児する」の割合が高くなっています。

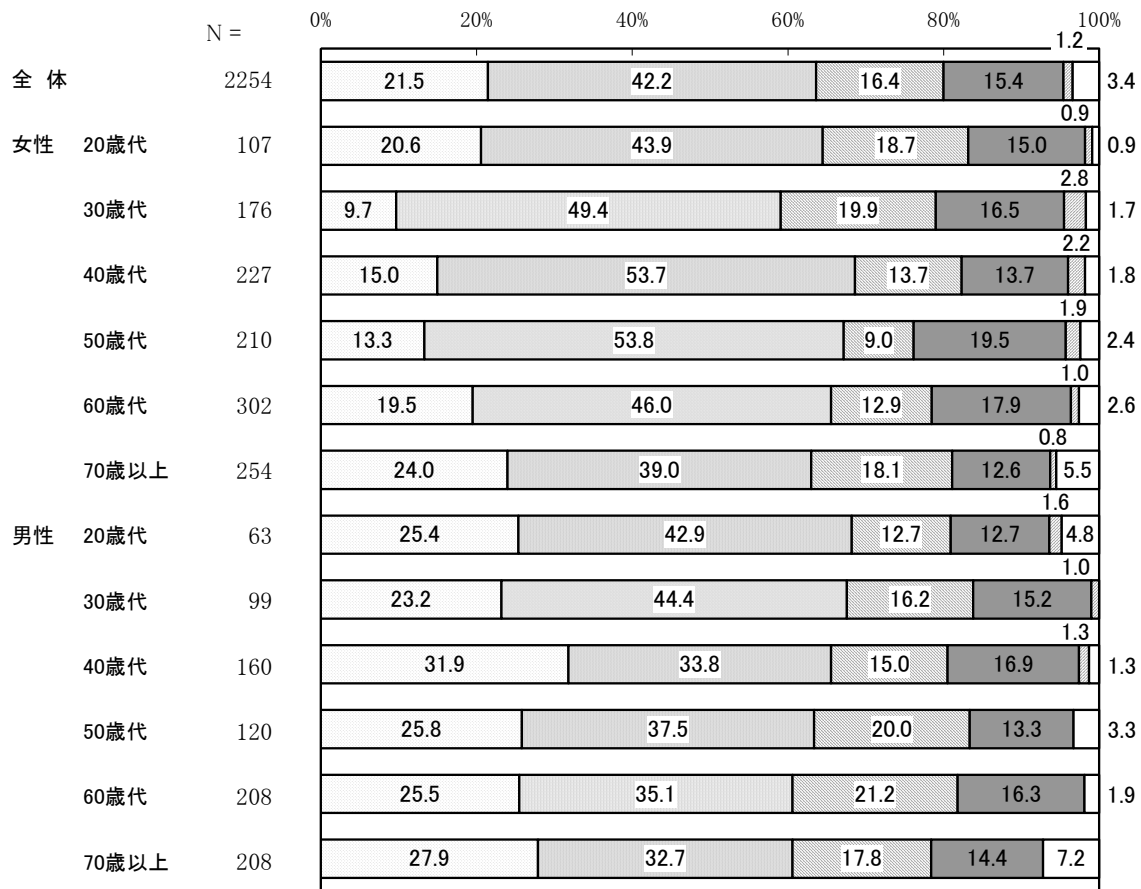
前回調査と比較すると、女性で「子育てサークルなどの一時的な育児支援や、子ども会などの地域ネットワークを利用しながら、主に家庭で育児する」の割合が5.6ポイント低くなっています。

- 育児は、できるだけ家族だけで行う
- 子育てサークルなどの一時的な育児支援や、子ども会などの地域ネットワークを利用しながら、主に家庭で育児する
- 保育所等を利用しながら、育児を行う
- 保育所等を利用しながら、一時的な育児支援や地域ネットワークも利用して、育児する
- その他
- 無回答

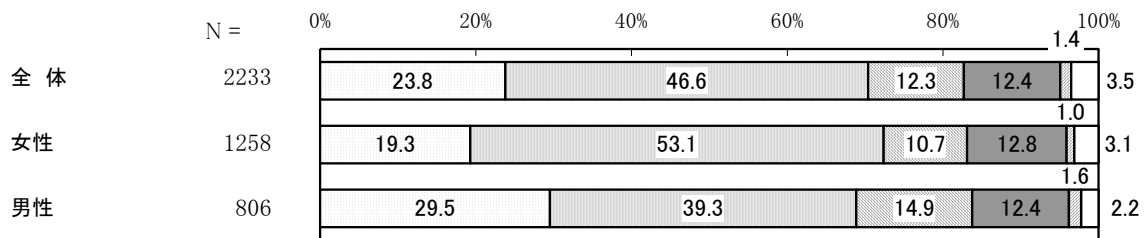


【性・年齢別】

- 育児は、できるだけ家族だけで行う
- 子育てサークルなどの一時的な育児支援や、子ども会などの地域ネットワークを利用しながら、主に家庭で育児する
- 保育所等を利用しながら、育児を行う
- 保育所等を利用しながら、一時的な育児支援や地域ネットワークも利用して、育児する
- その他
- 無回答



【前回調査（平成22年）】

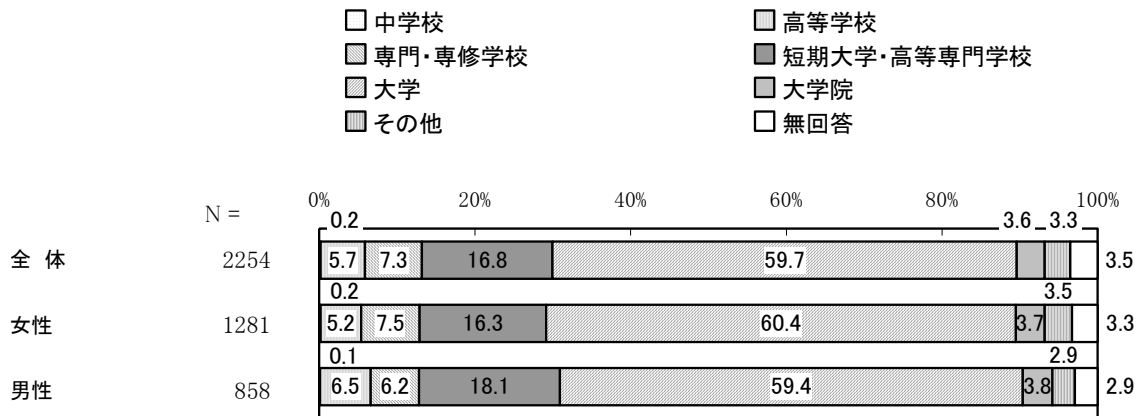


問6 あなたの子どもには、どの程度までの教育を受けさせたいと思いますか。女の子、男の子それぞれについてお答えください。子育てをしていない方も、子育てをしていると想定してお答えください。(それぞれ〇は一つ)

① 女の子

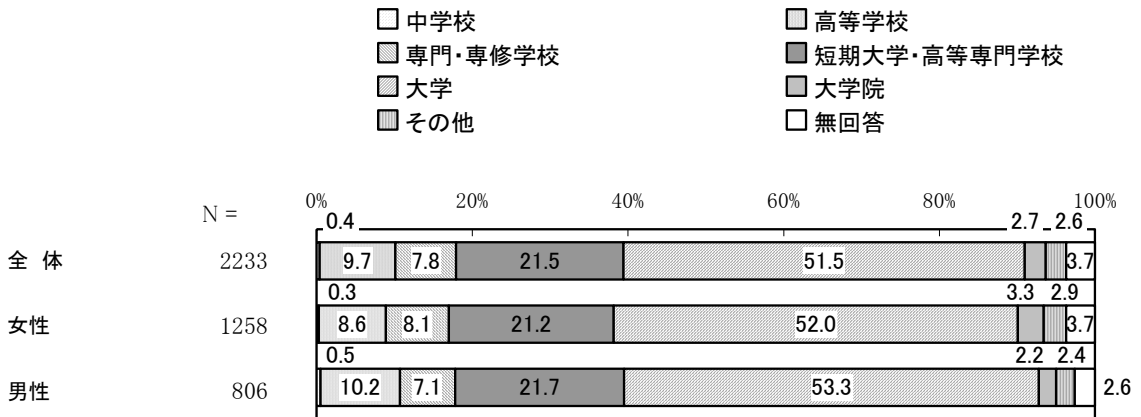
「大学」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「短期大学・高等専門学校」の割合が 16.8%となっています。

前回調査と比較すると、「大学」で 8.2 ポイント高くなっています。女性では、「大学」の割合が 8.4 ポイント高くなっています。



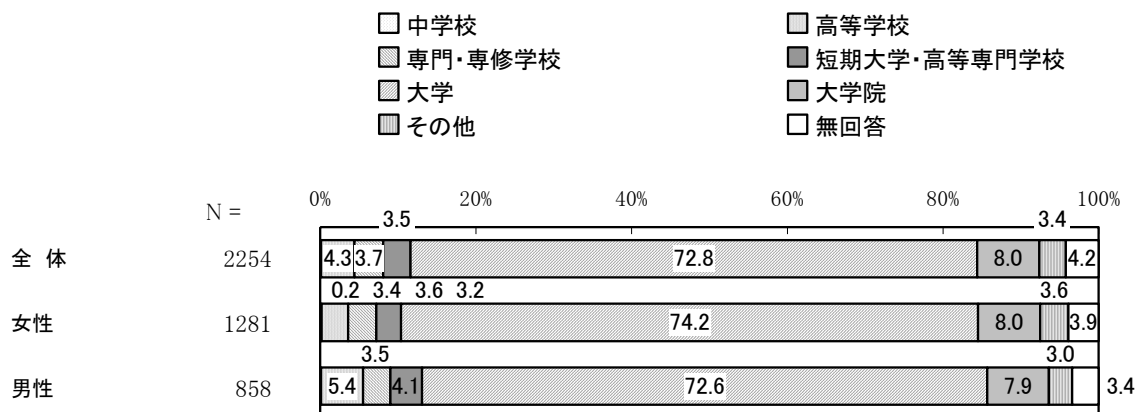
【前回調査（平成 22 年）】

① 女の子



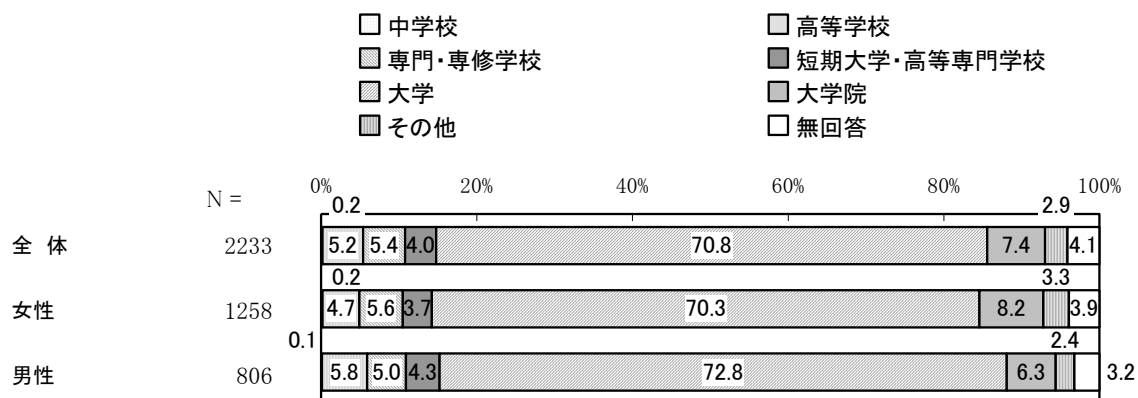
② 男の子

「大学」の割合が72.8%と最も高くなっています。



【前回調査（平成22年）】

② 男の子

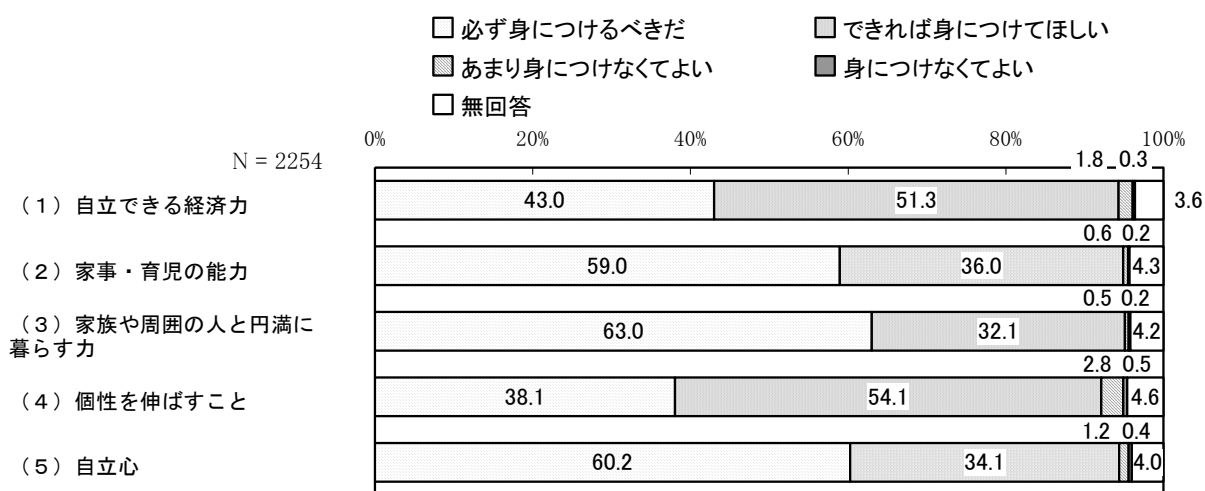


問7 あなたの子どもに、次のことをどのくらい身につけてほしいと思いますか。女の子、男の子それぞれについてお答えください。子育てをしていない方も、子育てをしていると想定してお答えください。(それぞれ〇は一つ)

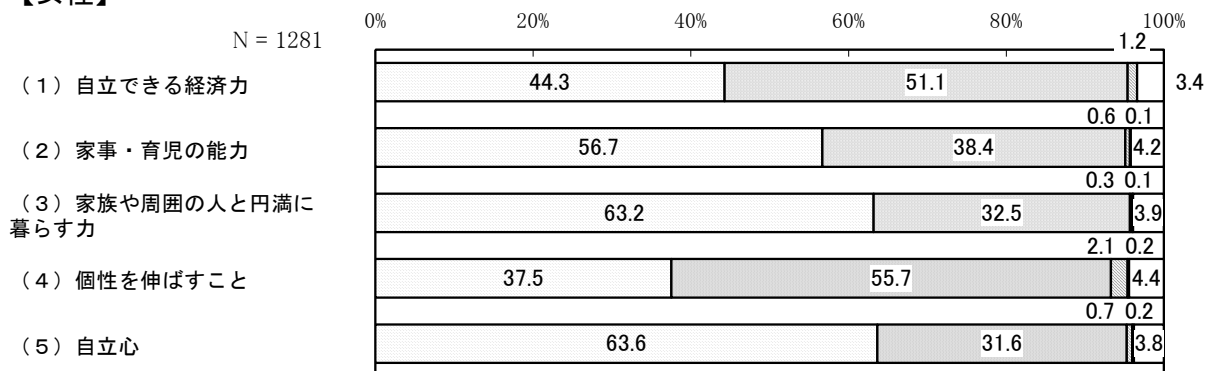
① 女の子

「必ず身につけるべきだ」の割合が『(3) 家族や周囲の人と円満に暮らす力』で 63.0%と最も高く、次いで『(5) 自立心』で 60.2%となっています。

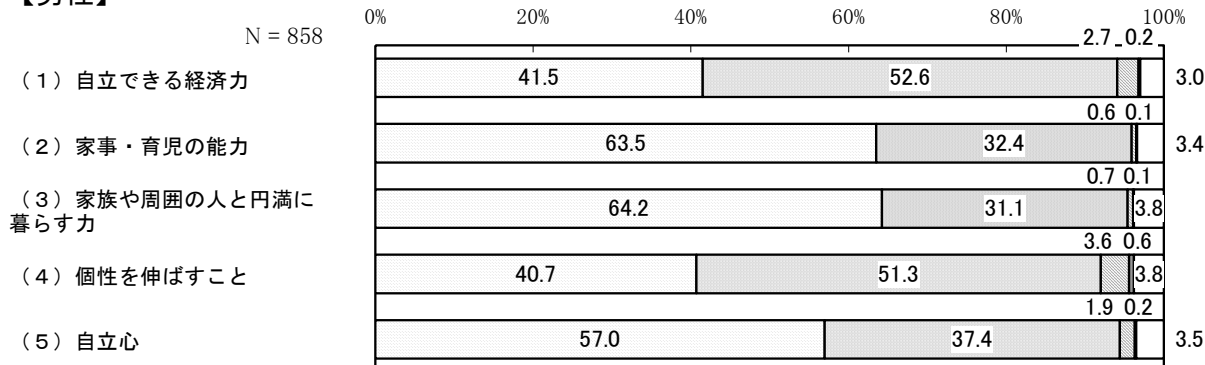
性別でみると、女性で「必ず身につけるべきだ」の割合が『(5) 自立心』で 63.6%と最も高く、次いで『(3) 家族や周囲の人と円満に暮らす力』で 63.2%となっています。男性で「必ず身につけるべきだ」の割合が『(3) 家族や周囲の人と円満に暮らす力』で 64.2%と最も高く、次いで『(2) 家事・育児の能力』で 63.5%となっています。



【女性】



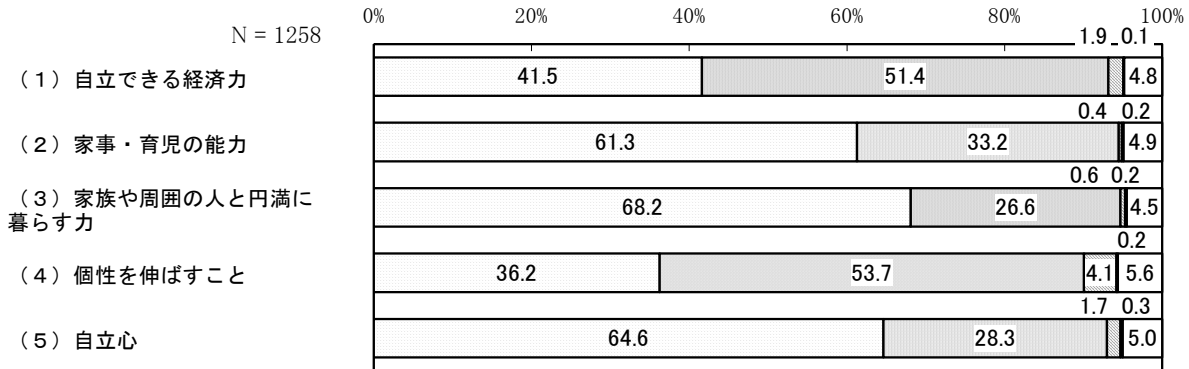
【男性】



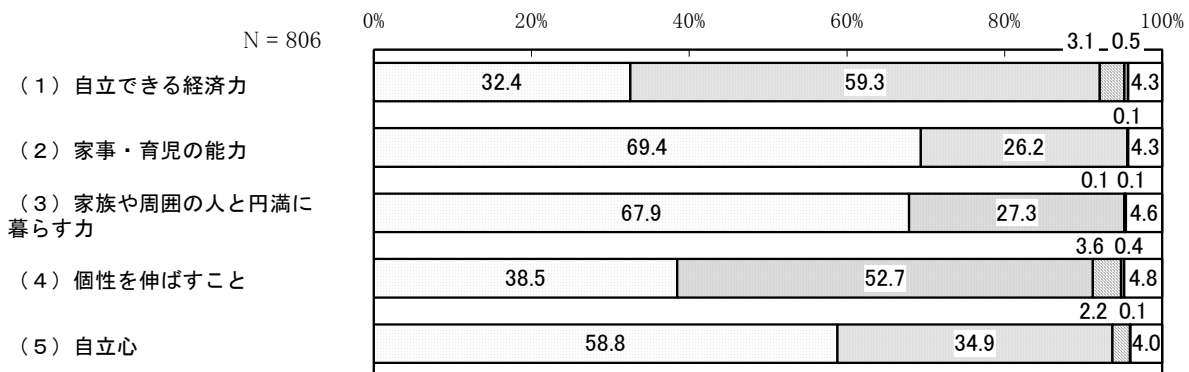
【前回調査（平成 22 年）】

【女性】

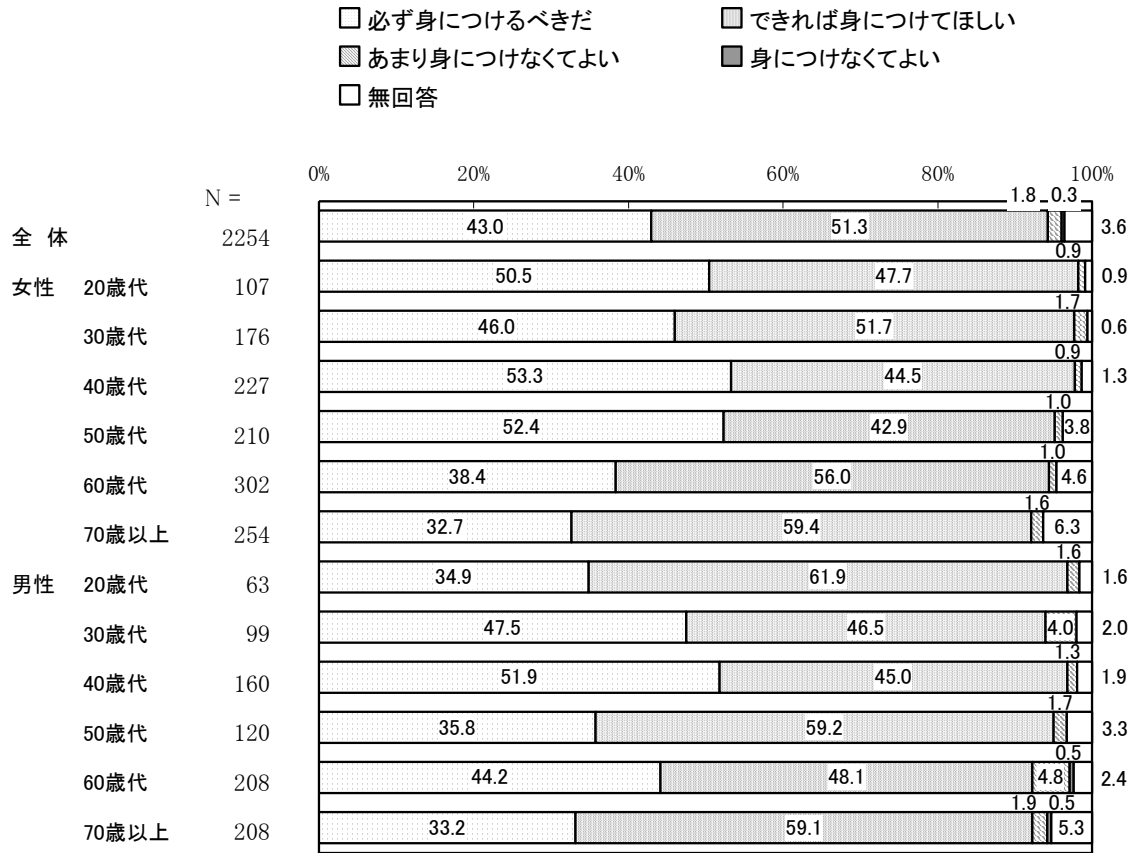
- 必ず身につけるべきだ
- できれば身につけてほしい
- あまり身につけなくてよい
- 身につけなくてよい
- 無回答



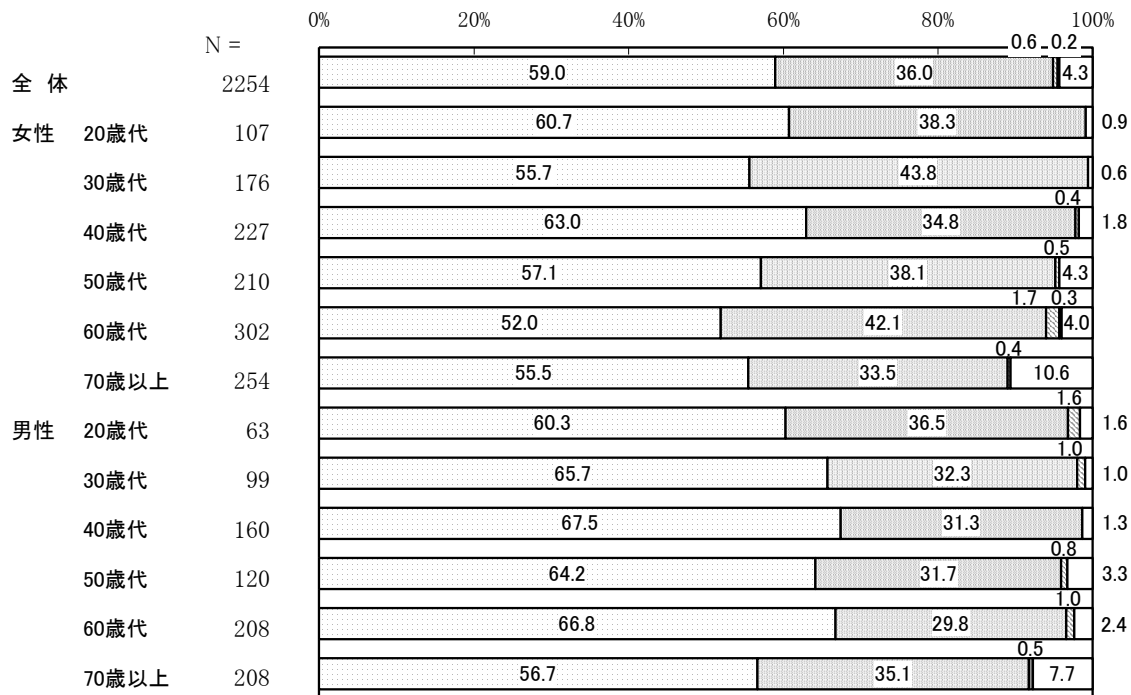
【男性】



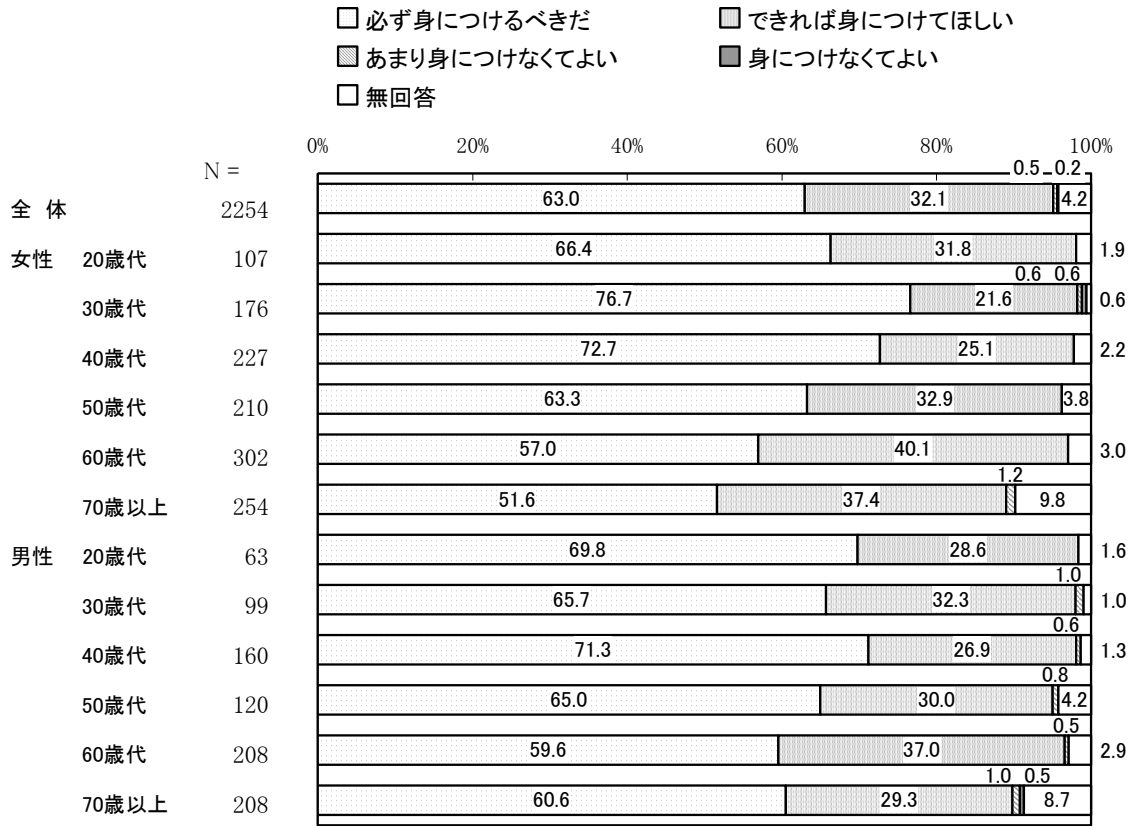
(1) 自立できる経済力



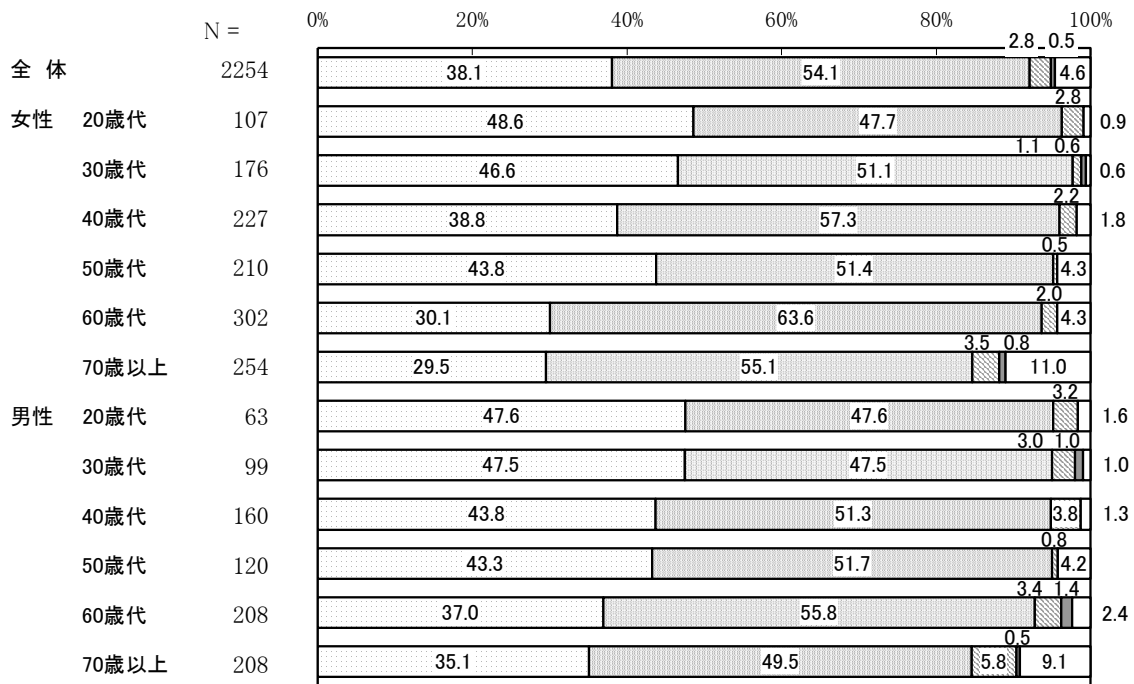
(2) 家事・育児の能力



(3) 家族や周囲の人と円満に暮らす力



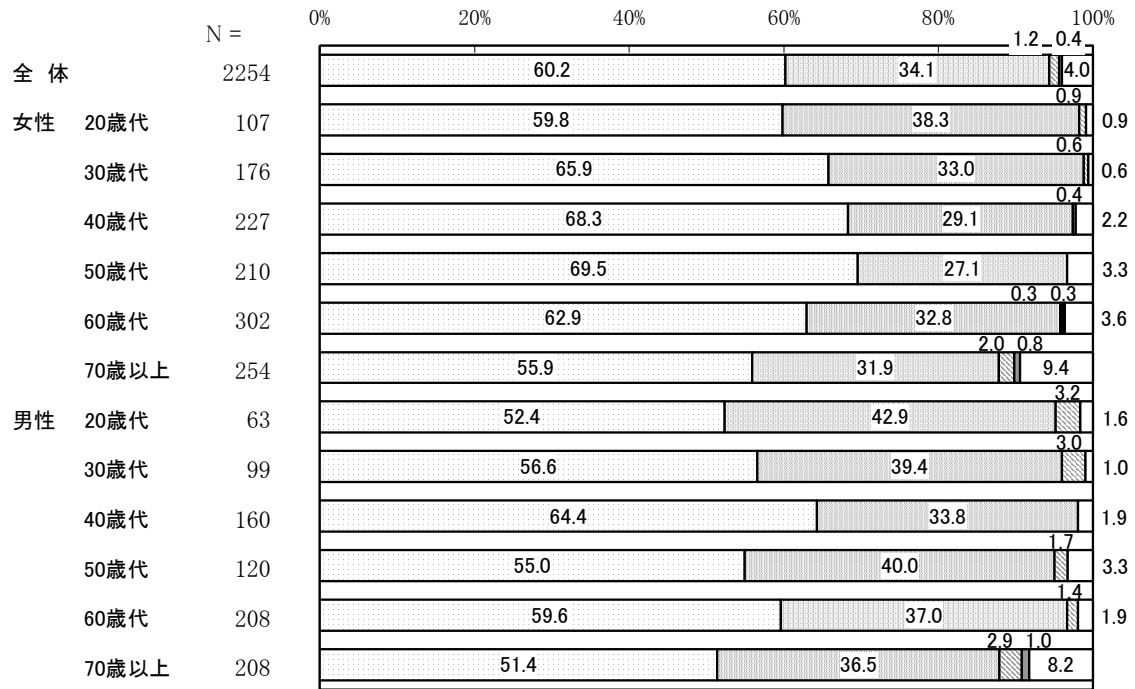
(4) 個性を伸ばすこと





(5) 自立心

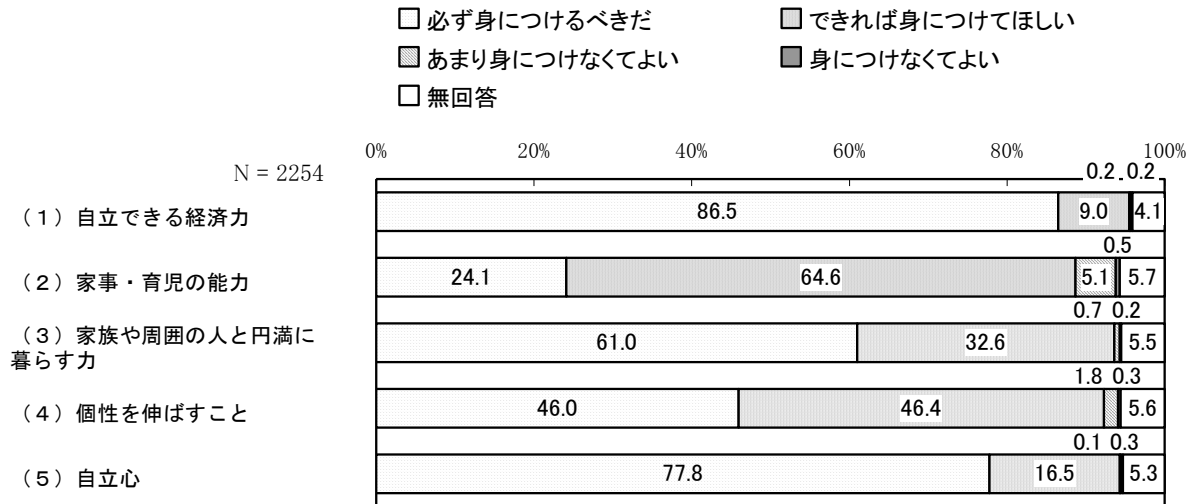
- 必ず身につけるべきだ
- できれば身につけてほしい
- ▨ あまり身につけなくてよい
- 身につけなくてよい
- 無回答



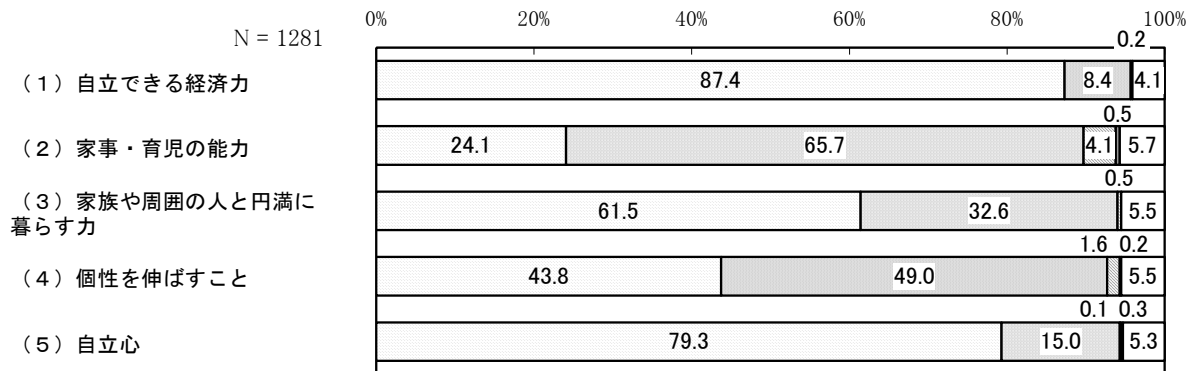
## ② 男の子

「必ず身につけるべきだ」の割合が『(1) 自立できる経済力』で 86.5%と最も高く、次いで『(5) 自立心』で 77.8%となっています。

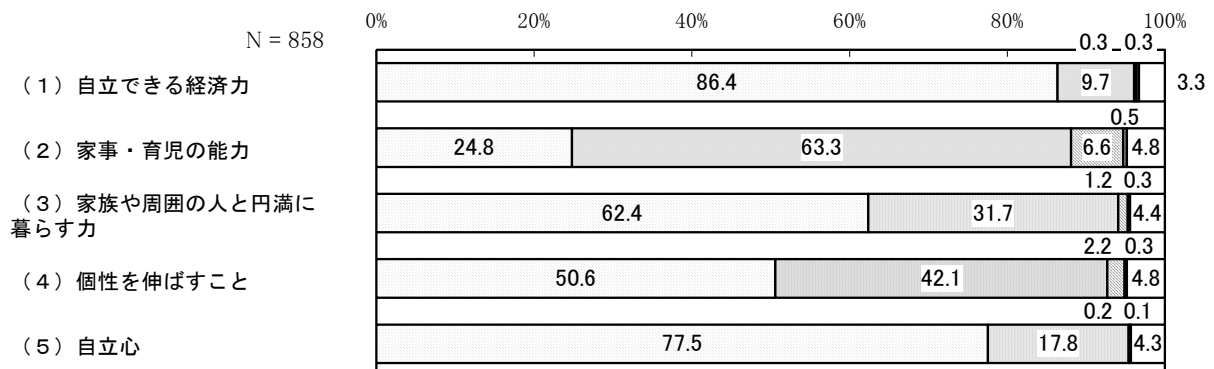
性別でみると、女性で「必ず身につけるべきだ」の割合が『(1) 自立できる経済力』で 87.4%と最も高く、次いで『(5) 自立心』で 79.3%となっています。男性で「必ず身につけるべきだ」の割合が『(1) 自立できる経済力』で 86.4%と最も高く、次いで『(5) 自立心』で 77.5%となっています。



## 【女性】

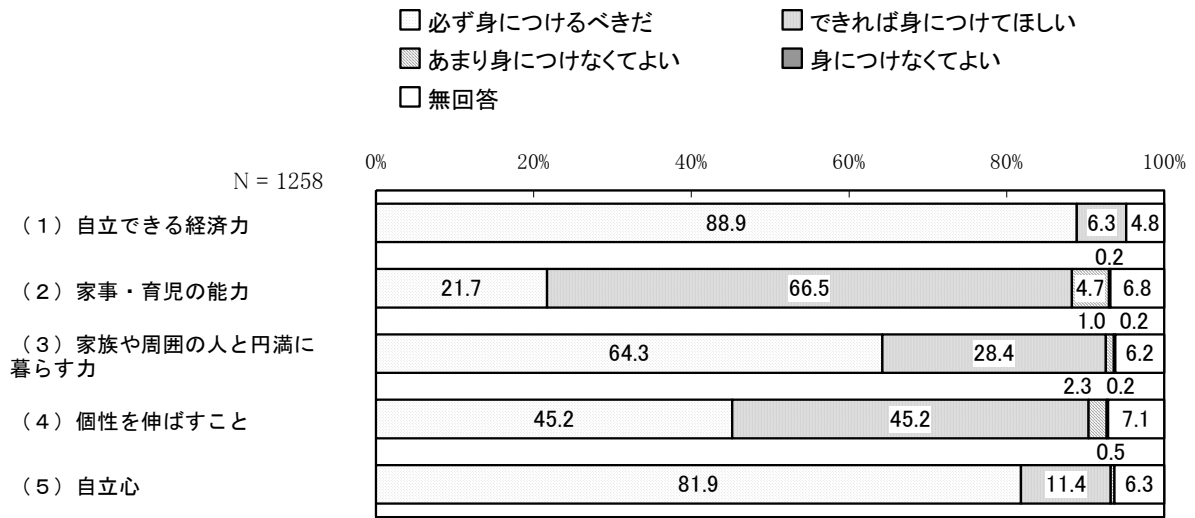


## 【男性】

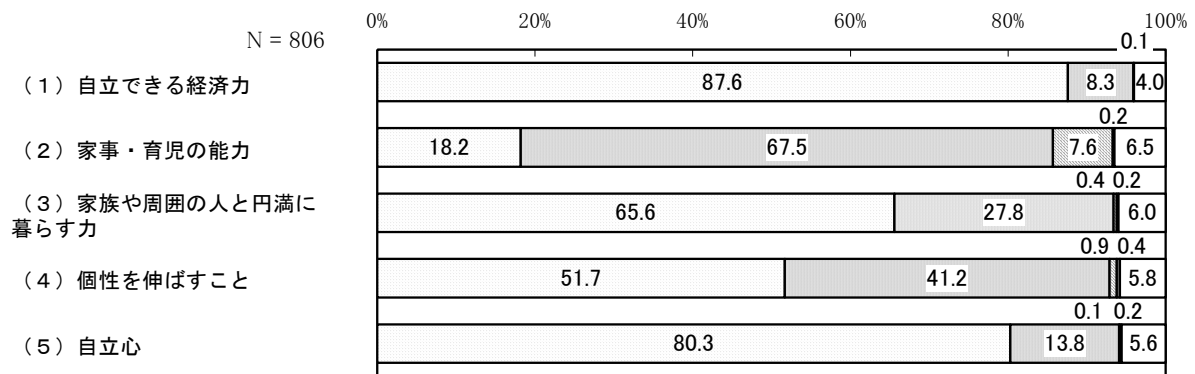


【前回調査（平成 22 年）】

【女性】

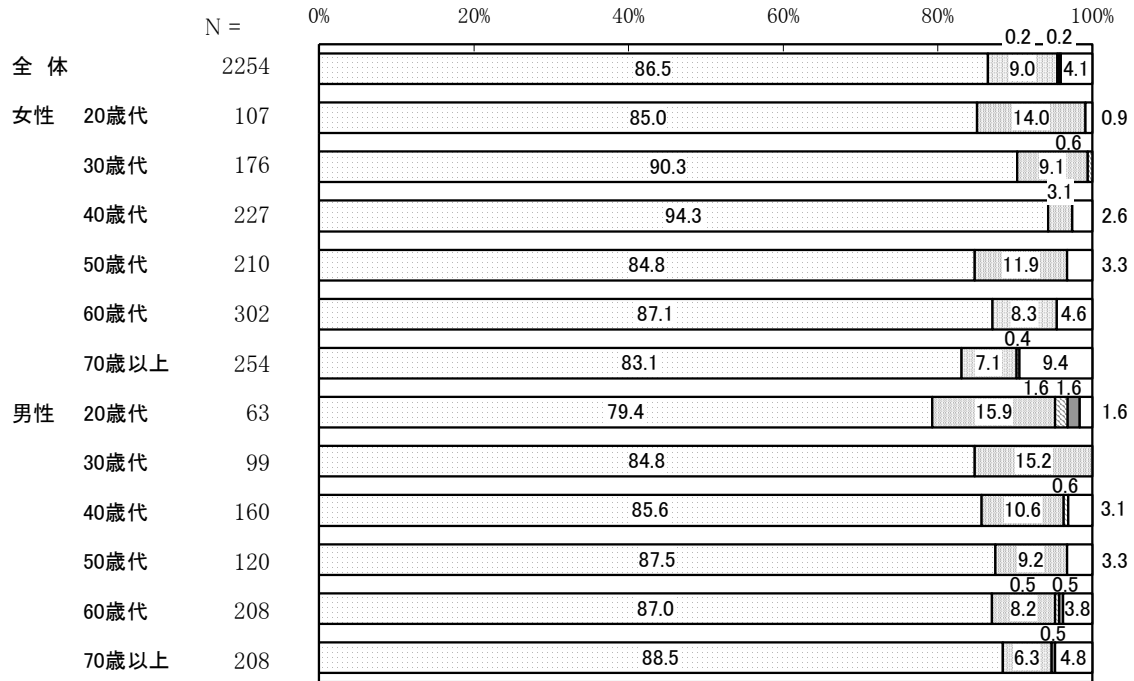


【男性】

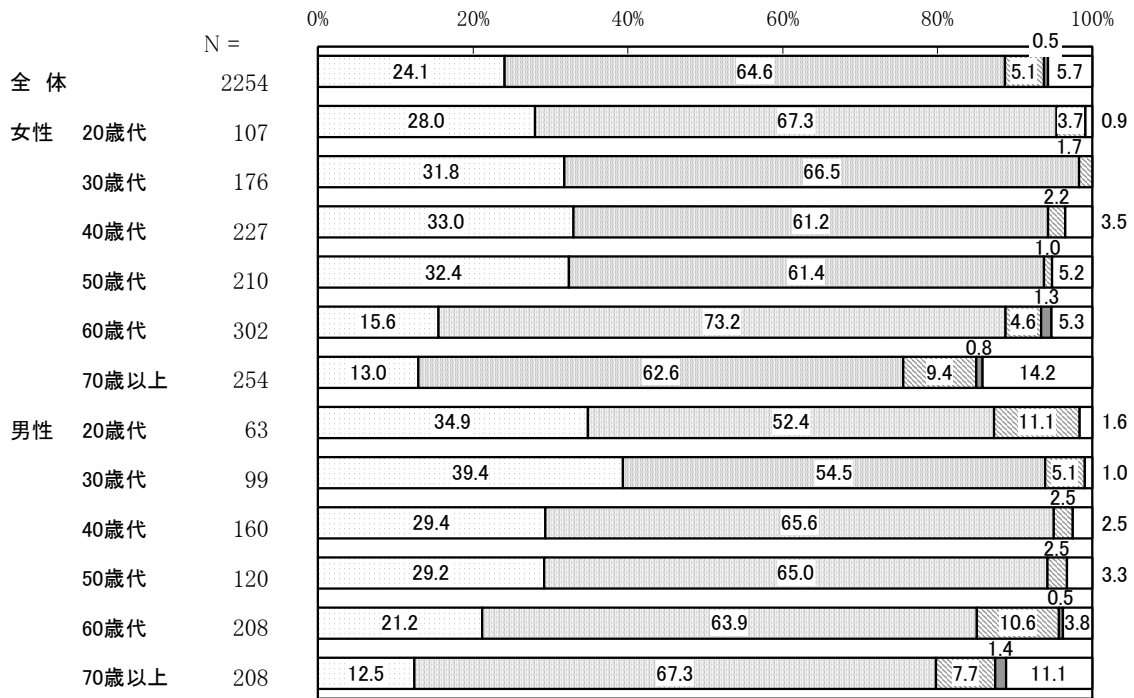


(1) 自立できる経済力

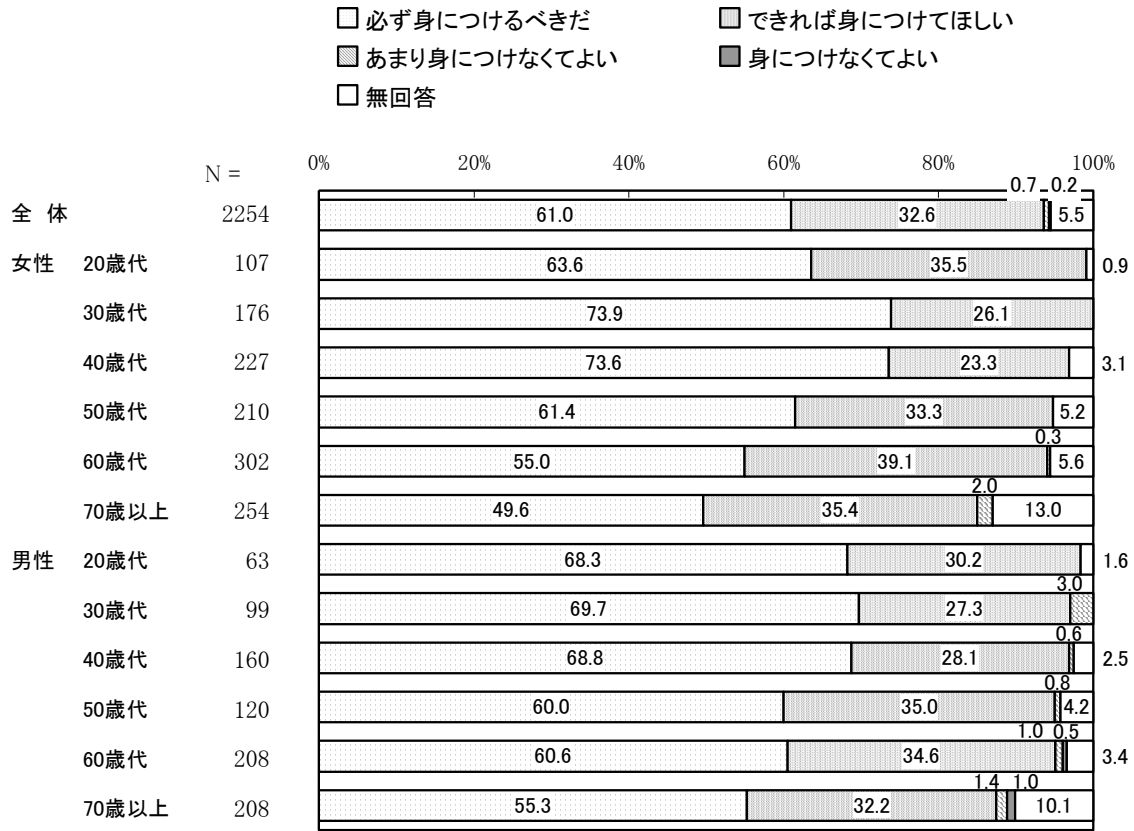
- 必ず身につけるべきだ
- できれば身につけてほしい
- あまり身につけなくてよい
- 身につけなくてよい
- 無回答



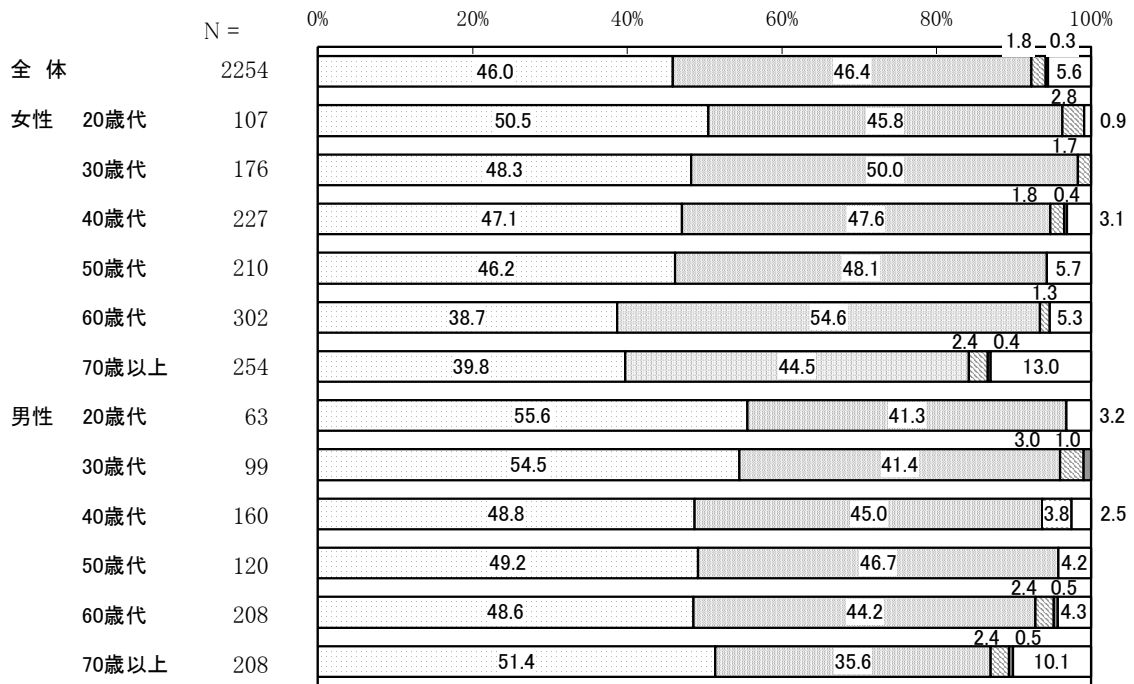
(2) 家事・育児の能力



(3) 自立できる経済力

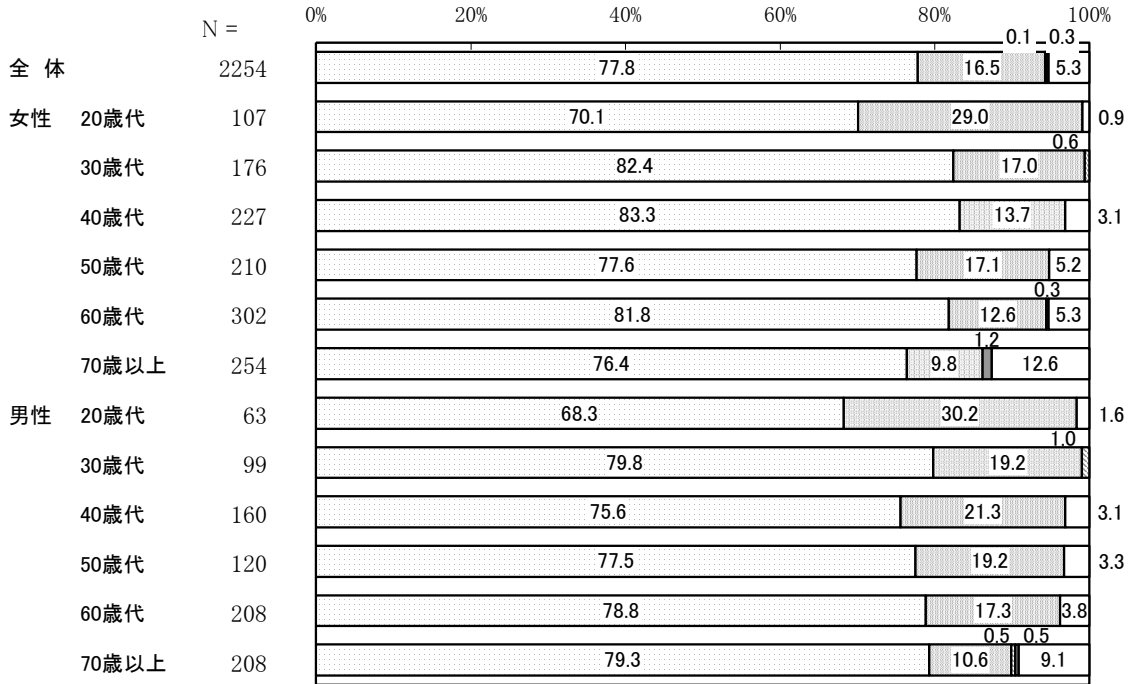


(4) 個性を伸ばすこと



(5) 自立心

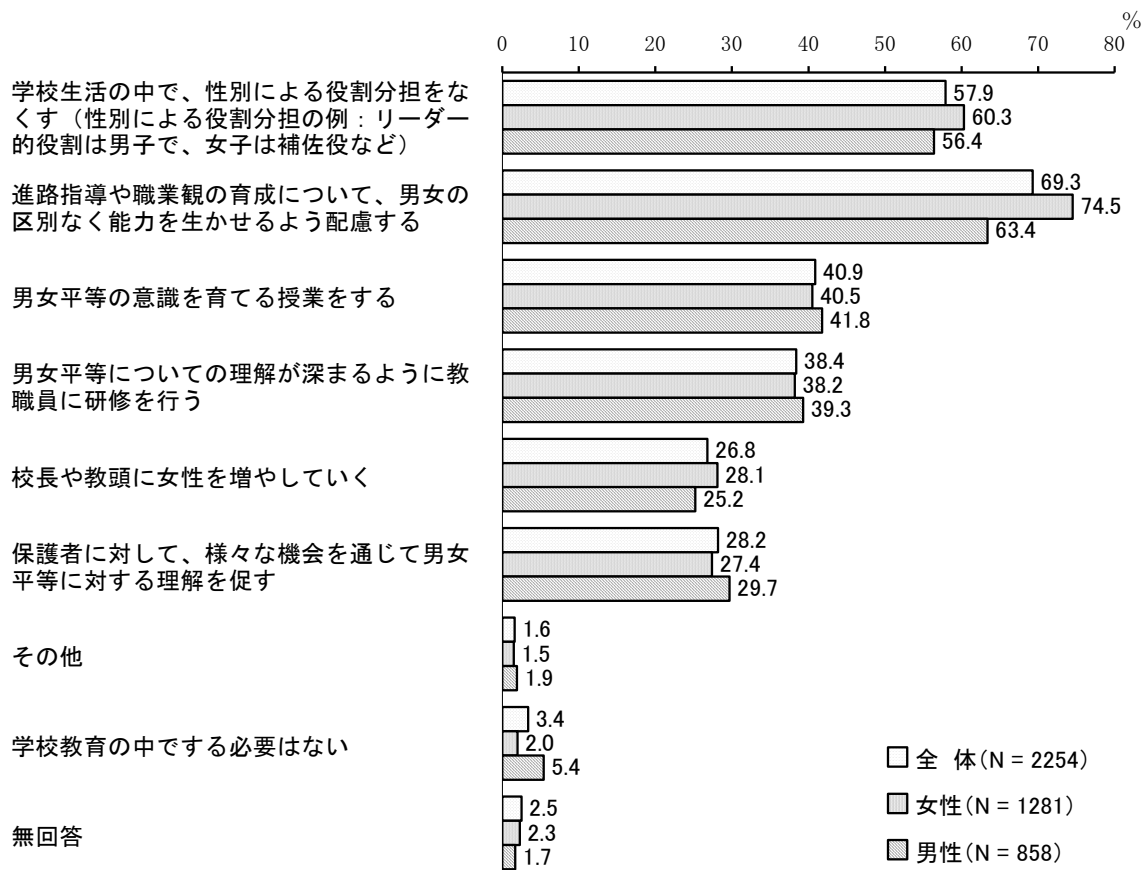
- 必ず身につけるべきだ
- できれば身につけてほしい
- ▨ あまり身につけなくてよい
- 身につけなくてよい
- 無回答



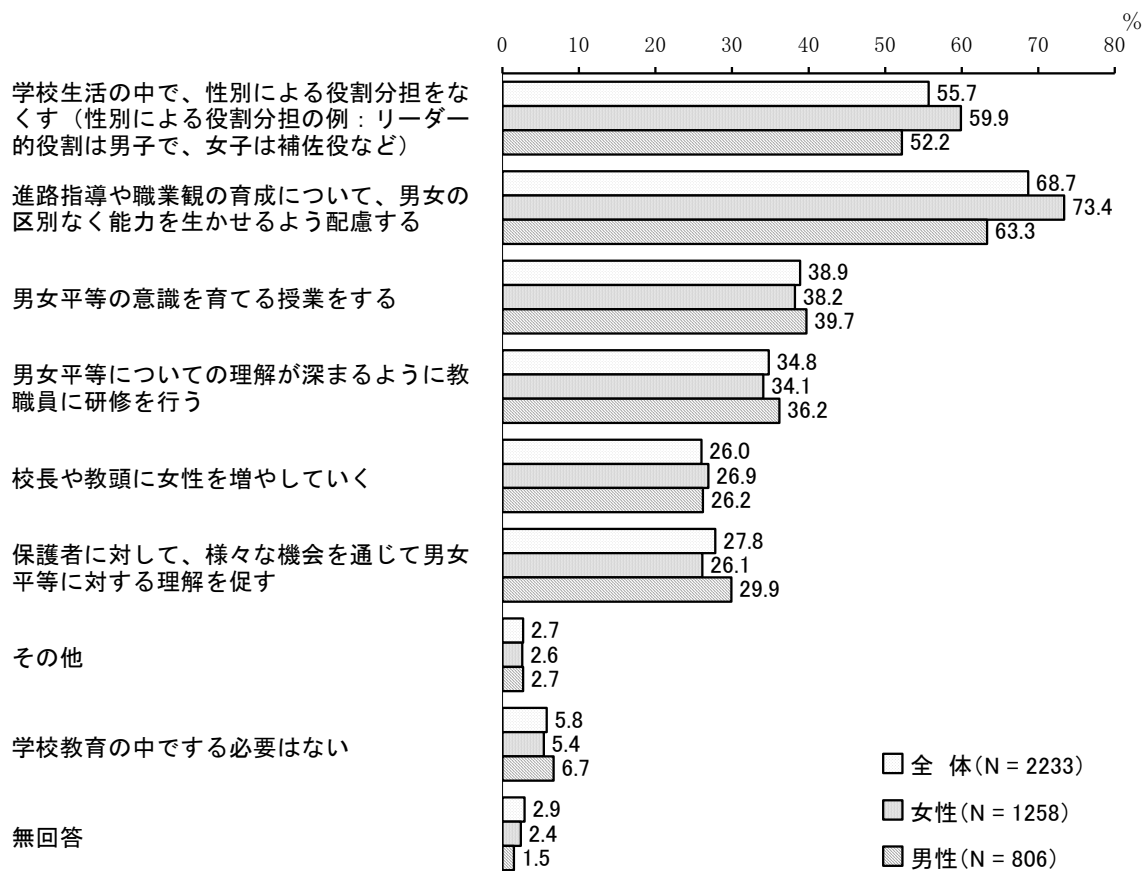
問8 男女平等を推進していくために、学校で行うとよいと思うものはどれですか。  
(〇はいくつでも)

「進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が69.3%と最も高く、次いで「学校生活の中で、性別による役割分担をなくす（性別による役割分担の例：リーダー的役割は男子で、女子は補佐役など）」の割合が57.9%、「男女平等の意識を育てる授業をする」の割合が40.9%となっています。

性別でみると、女性で「進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が高くなっています。



【前回調査（平成 22 年）】





就学前の子どもがいる方にうかがいます。 ※それ以外の方は問 11 へ

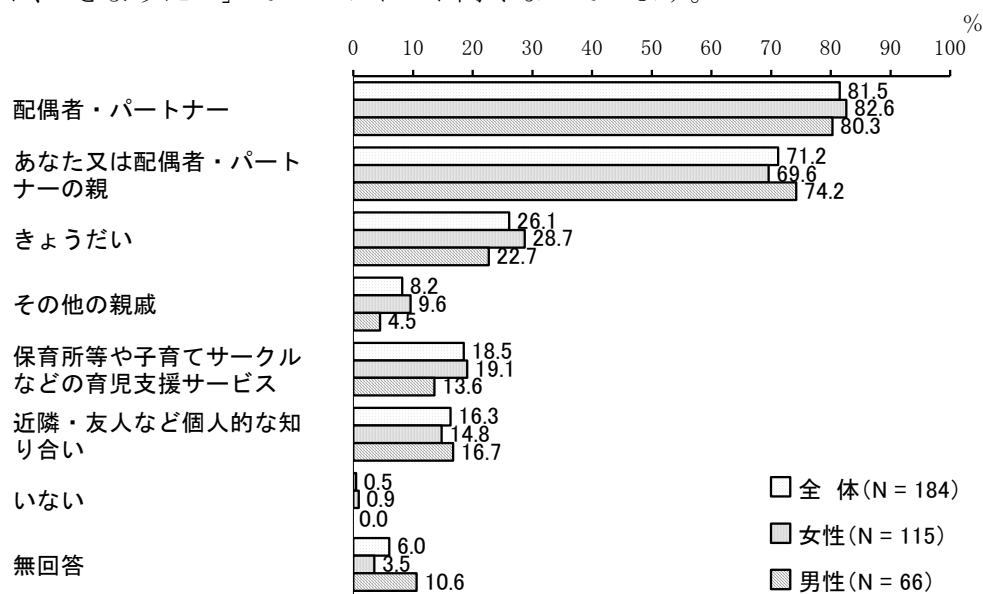
問 9 あなたには、次の (1) (2) ができる人はいますか。(それぞれ〇はいくつでも)

(1) 子どもの世話を頼むことができる

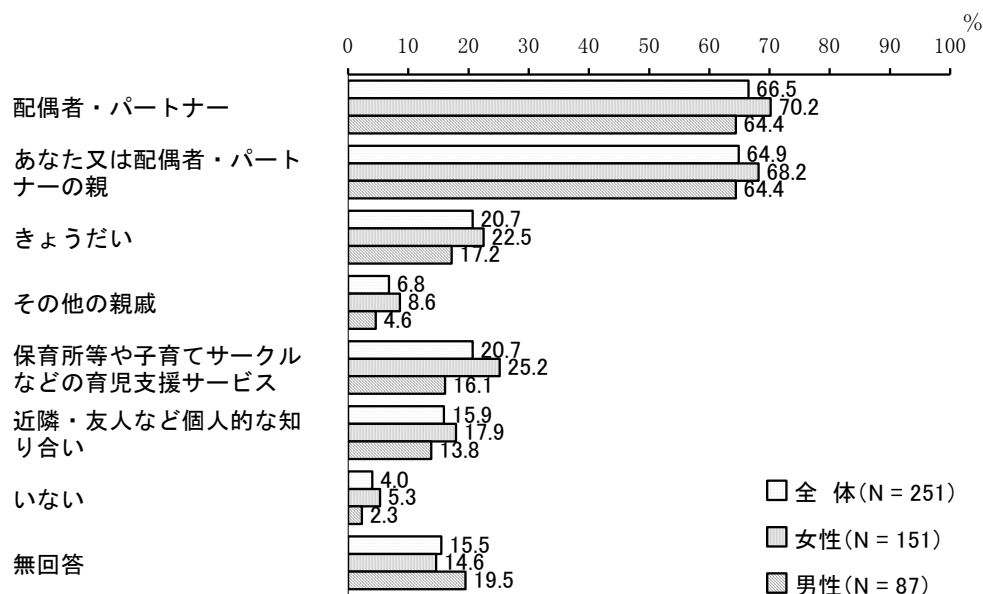
「配偶者・パートナー」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「あなた又は配偶者・パートナーの親」の割合が 71.2%となっています。

性別でみると、女性で男性と比べて「きょうだい」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「配偶者・パートナー」で 15.0 ポイント、「あなた又は配偶者・パートナーの親」で 6.3 ポイント、「きょうだい」で 5.4 ポイント高くなっています。女性では、「配偶者・パートナー」で 12.4 ポイント、「きょうだい」で 6.2 ポイント高くなっています。また、「保育所等や子育てサークルなどの育児支援サービス」で 6.1 ポイント低くなっています。男性では、「配偶者・パートナー」で 15.9 ポイント、「あなた又は配偶者・パートナーの親」で 9.8 ポイント、「きょうだい」で 5.5 ポイント高くなっています。



【前回調査 (平成 22 年)】

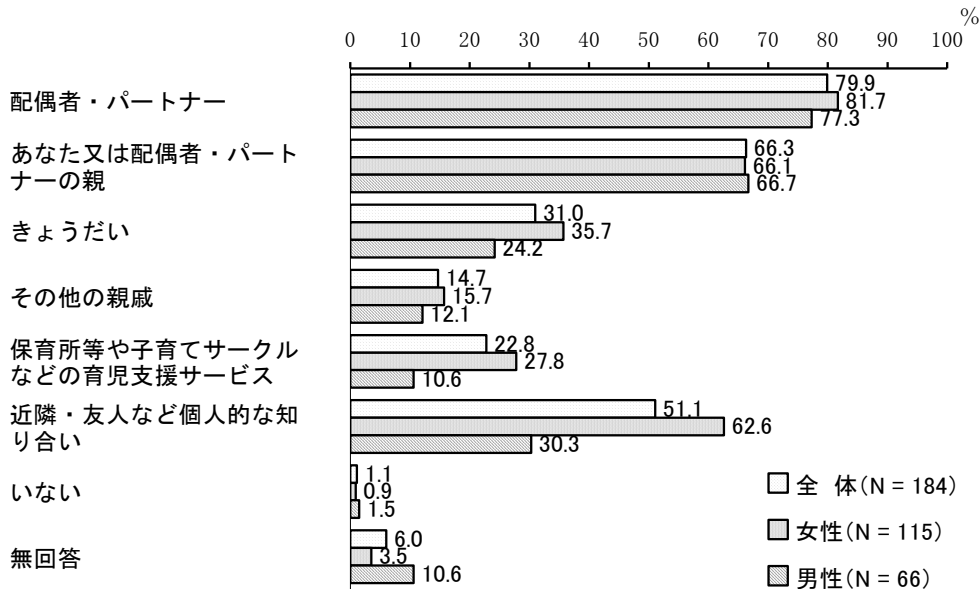


## (2) 育児について相談にのってくれる

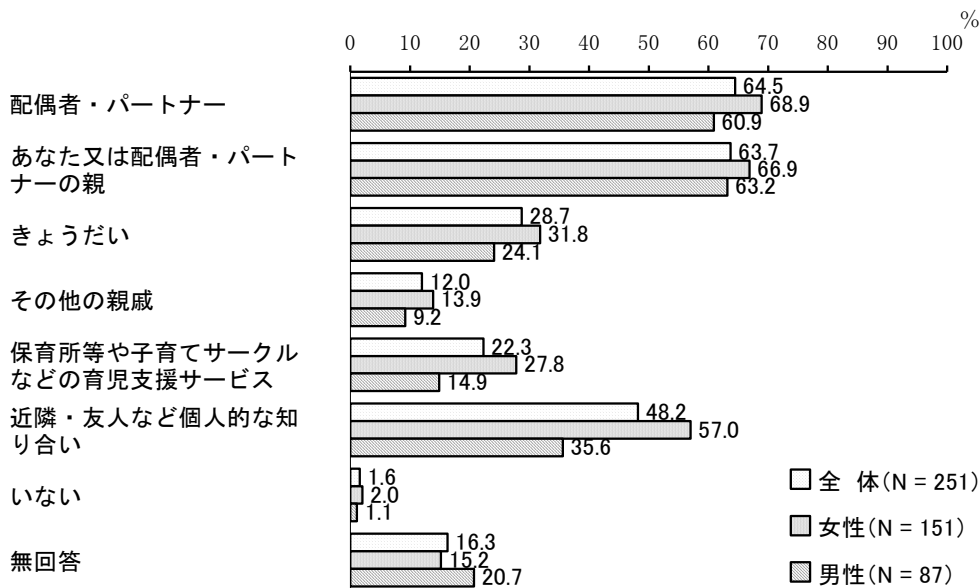
「配偶者・パートナー」の割合が79.9%と最も高く、次いで「あなた又は配偶者・パートナーの親」の割合が66.3%、「近隣・友人など個人的な知り合い」の割合が51.1%となっています。

性別で見ると、女性で「近隣・友人など個人的な知り合い」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「配偶者・パートナー」で15.4ポイント高くなっています。女性では、「配偶者・パートナー」で12.8ポイント、「近隣・友人など個人的な知り合い」で5.6ポイント高くなっています。男性では、「配偶者・パートナー」で16.4ポイント高くなっています。また、「近隣・友人など個人的な知り合い」で5.3ポイント低くなっています。



## 【前回調査（平成22年）】

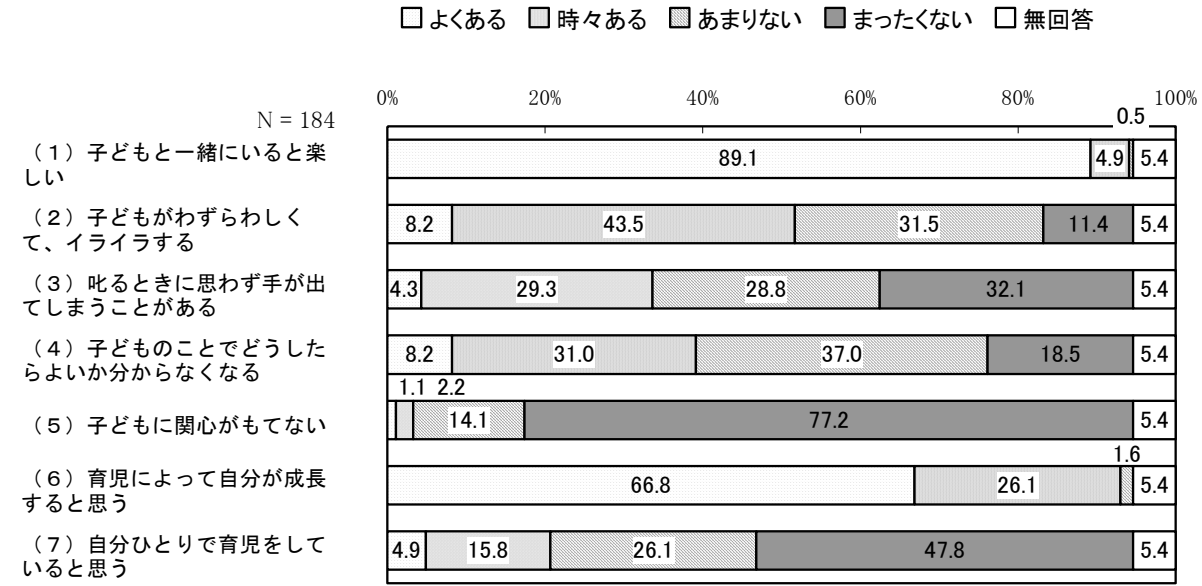


**問10 あなたは、次のように思うことが、どのくらいありますか。(それぞれ○は一つ)**

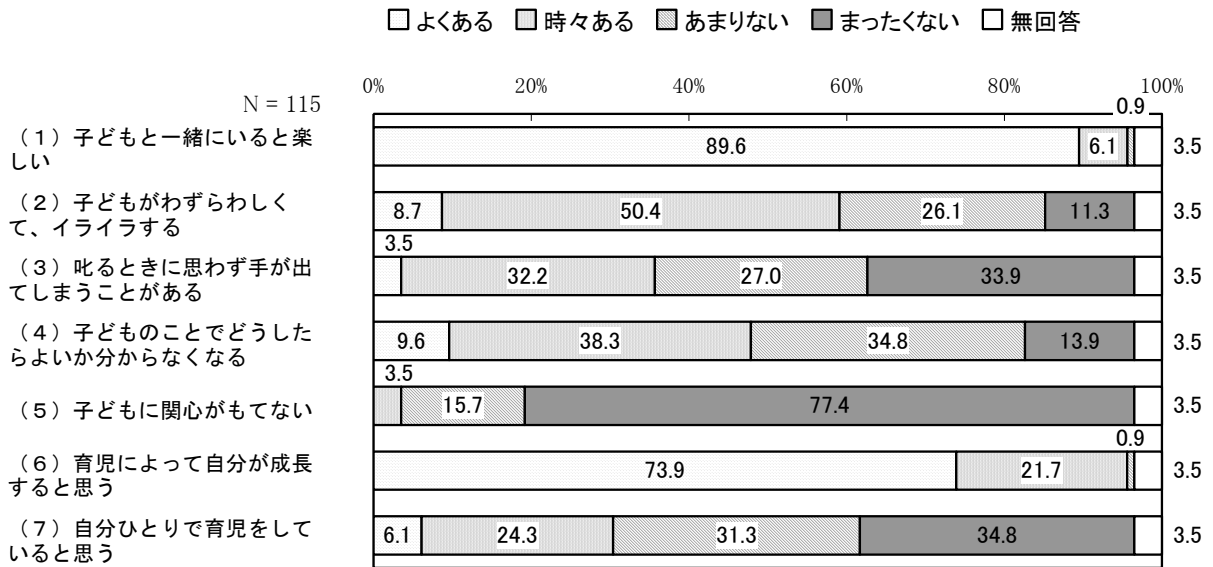
「よくある」と「時々ある」をあわせた“ある”の割合が『(1) 子どもと一緒にいると楽しい』で94.0%と最も高く、次いで『(6) 育児によって自分が成長すると思う』で92.9%、『(2) 子どもがわずらわしくて、イライラする』で51.7%となっています。

性別でみると、女性で“ある”の割合が『(1) 子どもと一緒にいると楽しい』で95.7%と最も高く、次いで『(6) 育児によって自分が成長すると思う』で95.6%、『(2) 子どもがわずらわしくて、イライラする』で59.1%となっています。男性で“ある”の割合が『(1) 子どもと一緒にいると楽しい』で90.9%と最も高く、次いで『(6) 育児によって自分が成長すると思う』で87.8%、『(2) 子どもがわずらわしくて、イライラする』で39.4%となっています。

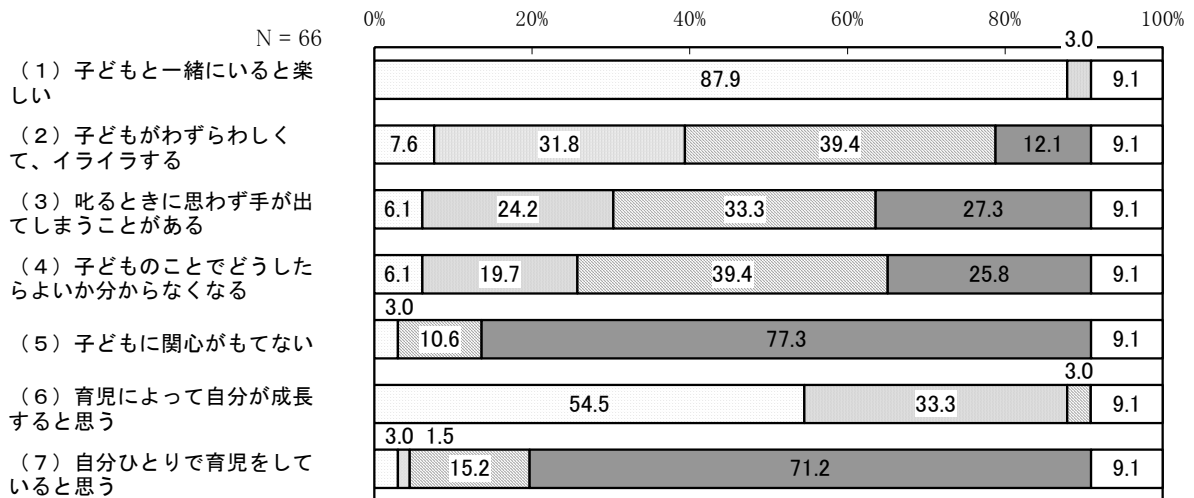
前回調査と比較すると、女性で“ある”の割合が『(6) 育児によって自分が成長すると思う』で12.2ポイント、『(1) 子どもと一緒にいると楽しい』で10.3ポイント、『(7) 自分ひとりで育児をしていると思う』で8.5ポイント高くなっています。また、『(3) 叱るときに思わず手が出てしまうことがある』で8.7ポイント低くなっています。男性では“ある”の割合が『(6) 育児によって自分が成長すると思う』で14.2ポイント、『(1) 子どもと一緒にいると楽しい』で9.3ポイント高くなっています。



【女性】



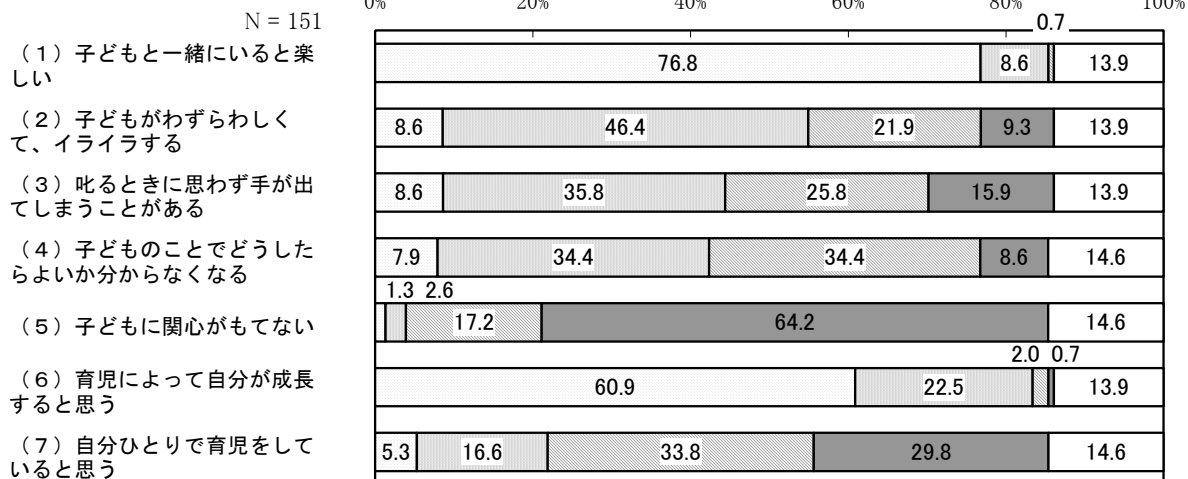
【男性】



【前回調査（平成 22 年）】

【女性】

□ よくある □ 時々ある □ あまりない □ まったくない □ 無回答



【男性】

